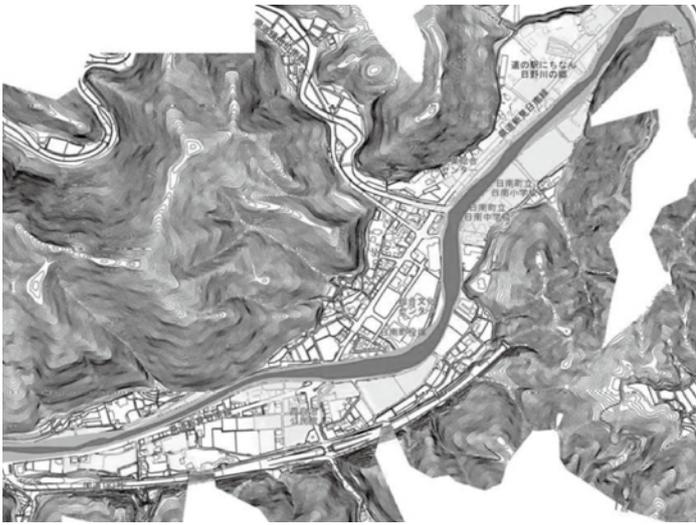


春、新しい生活を始める人に

春は進学、就職などで転居する人が多い時期です。引っ越ししたら、まず引っ越し先にどんな危険があるかを確認しましょう。

また、住居だけでなく、多くの時間を過ごす職場や学校についても危険がないか確認しておきましょう。

たくさんの人が暮らしている町でも災害の危険が潜んでいます。災害から身を守るために、引っ越し先の自治体が公表している、土砂災害・洪水・地震・津波・高潮・火山災害などのハザードマップをもとに、新



しく住むところの危険の有無を確認しましょう。

ハザードマップは引っ越し先の市役所・町村役場の窓口やホームページで確認できます。あわせて、それぞれの災害に対応した避難所の位置を確認し、実際に避難所に行ってみることで、避難所の場所や避難する経路の危険についても理解しておきましょう。

危険が迫ったことを知らせる防災無線も日南町のように戸別受信機が整備されているところは少なく、屋外のスピーカーで放送するところが多くありますが、屋内では聞き取りにくい場合があります。

確実に情報が得られるように、防災無線や防災アプリなど、自治体からの危険を知らせる情報を受ける手段も確認しておきましょう。

離れて暮らす家族と安否の確認ができるように災害用伝言ダイヤル（171）の使用方も理解しておきましょう。

新しく住むところの危険を理解して、新しい生活を安全に始めましょう。

【問合せ 役場総務課 82-1111】

獣害対策 アップデート

第9回 柵点検のコツ

日野郡鳥獣被害対策協議会
川野 風花
【問合せ】 72-1399

前回は、冬季におけるワイヤーメッシュ柵の破損についてお話ししました。今回はワイヤーメッシュ柵の点検のポイントと、点検方法のコツについてお話ししたいと思います。

〈点検ポイント〉

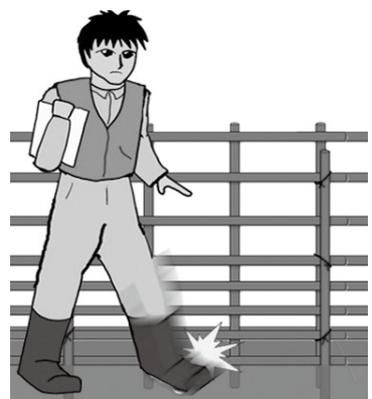
- ①柵が変形していないか
 - ②柵が浮いていないか
 - ③結束が切れていないか
- これらのポイントを点検時に見落とさないコツとして、指さし目視確認・下部足蹴り確認・上部揺さぶり確認、以上3つの方法があります。

1. 指さし目視確認

柵の変形や柵下部に掘り起こし、持ち上げなど、柵全体に問題が無いかを確認します。特に結束線は劣化し切れてしまふこともあるので、結束が上中下の3ヶ所あるか、指さ

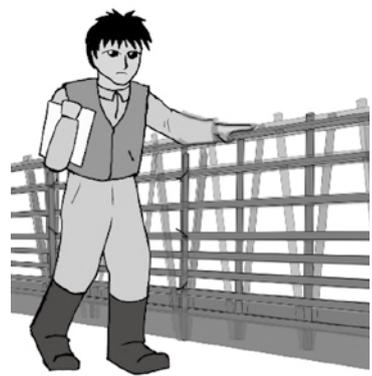
し目視で確認することをオススメします。

2. 下部足蹴り確認



柵の下部を蹴り、揺れが大きき、または揺れが収まらない場合は、柵が地面に刺さっていないか下部の腐食・獣による持ち上げなどが考えられます。

3. 上部揺さぶり確認



柵を揺すり、4〜5枚先まで揺れが伝わっている場合、支柱の穴の広がり、地面の軟化、結束の緩みなどが考えられます。

点検時にお役立てください！

